

# 広告

## 甘くておいしい夏野菜 「いしかり<sup>で</sup>CHU!!<sup>チュッ</sup>」

甘みたっぷり、プチっとはじけるおいしさの「いしかりDE CHU!!」。毎年、いしかり地物市場でも数が追いつかないほどの人気を誇るこのミニトマトを生産しているのは高岡施設園芸生産組合です。厳しい栽培基準を持つ「YES! clean」※に認証されているこちらのビニールハウスでは、今年もおいしいミニトマトの収穫がスタートしました。

「つくっているのはキャロル10という品種。高岡地区のような排水性の悪い重粘土地域でもしっかり根を張るので、栄養がたっぷり詰まっています」とは組合長の越後浩義さん。最も留意しているのは温度管理で、「ビニールを開け閉めして、午前と午後、そして夜に適度な寒暖差を設けています。高岡地区は風が強いので、四六時中、風の動きを監視して微調整しています。徹底した温度管理が、糖度8度以上の甘くておいしいミニトマトを育てているんです」。

今年は155tの出荷を予定している「いしかりDE CHU!!」。収穫は霜が降りる11月まで続きます。「北海道のミニトマトは太陽をたっぷり浴びる7～8月が一番おいしい。とても甘いので、お弁当やサラダに添えるだけでなく、たくさん食べてほしいですね。冷やして食べると、止まらなくなりますよ」。

※「北のクリーン農産物表示制度」のこと。環境と調和した農業を目指し、化学肥料や化学合成農薬の使用を抑えた農産物が登録される北海道独自の認証制度



◀おいしいミニトマトを見分けるコツは真っ赤でツヤのあるモノを選ぶこと。

▶堆肥を使って土壌をつくり、化学肥料や化学合成農薬を抑えた農場で栽培される「いしかりDE CHU!!」は環境にもやさしく、安心・安全なミニトマトです。

▼高岡施設園芸生産組合では、現在90棟のビニールハウスでミニトマトを生産しています。



▶写真のいしかり地物市場（樽川120-3 ☎73-4500）のほか、7～8月には全道のイトーヨーカドーでも購入できます。



※DW：重量トン  
訂正とおわび 6月号文中の「57人のヤングアンバサダー」は「577人のヤングアンバサダー」でした。訂正し、おわび申し上げます。

にやっってきた黒船はその後の日本を大きく変えたが、石狩湾新港に浮かぶ8.5万DW※のLNG船石狩に何をもちたらずだろか。折りしも石油高騰でエネルギー問題が市民生活に影響を及ぼしているだけに、救世主となることを願う。（市長）

を指し鎬を削る企業にとつても、その恩恵を受ける市民にあつても、このプロジェクトの裾の広がり期待の感は広がるどころ。◆幕末浦賀にやっってきた黒船はその後の日本を大きく変えたが、石狩湾新港に浮かぶ8.5万DW※のLNG船石狩に何をもちたらずだろか。折りしも石油高騰でエネルギー問題が市民生活に影響を及ぼしているだけに、救世主となることを願う。（市長）

まるで人体に張りめぐらされた動脈のように、石狩湾新港を心臓部とした液化天然ガス（LNG）の全道向け供給網がつくられるのは2013年。今年の夏からにも工事が始まるという。新港のステップアップとなるLNG輸入基地建設は環境にも優しい低炭素型エネルギーの中核基地である。◆サハリンの石油天然ガスプロジェクトの後方支援基地誘致に動き出してはや11年。それ以前のLPG国家備蓄誘致から数えると、そろそろ20年。いよいよ現実のものとなる。◆マイナス162度の液体に海水をかけると気化ガスができる仕組みは簡単と言えはその通りであるが、これを毫しの誤りも無く定量的に生産・供給するとなると数百億円の設定投資を必要とする大プロジェクトとなる。◆この低温エネルギーやLNGを活用する関連産業の誘致が次の課題であるが、夢多き次世代エネルギーの誕生を指し鎬を削る企業にとつても、その恩恵を受ける市民にあつても、このプロジェクトの裾の広がり期待の感は広がるどころ。◆幕末浦賀にやっってきた黒船はその後の日本を大きく変えたが、石狩湾新港に浮かぶ8.5万DW※のLNG船石狩に何をもちたらずだろか。折りしも石油高騰でエネルギー問題が市民生活に影響を及ぼしているだけに、救世主となることを願う。（市長）